

第 18 回
日本環境共生学会
学術大会

平成 27 年 9 月 26 日(土)
~27 日(日)

茨城大学阿見キャンパス
農学部講義棟

第18回 日本環境共生学会 学術大会 プログラム

■ 開会式・学会賞授与式

1日目（9月26日）100教室 13:00-13:50

■ 特別講演

「気候変動と未来社会」 茨城大学学長 三村信男 氏

1日目（9月26日）100教室 14:00-15:00

■ 公開シンポジウム

「震災復興を超えた食と農の環境共生のかたち」

1日目（9月26日）100教室 15:10-17:00

・話題提供

・パネルディスカッション

■ 企画セッションC0

1日目（9月26日）100教室 17:10-18:20

「スマートコミュニティとは」

近年、スマートコミュニティやスマートシティが注目され、都市政策、技術イノベーション、またはまちづくりにおいて活発な取り組みが見られる。しかし、もともと「スマート」とは“無駄が少ない”（効率），“賢い”（知的），“機敏”（変化に対して），“素敵”（格好）など、多様な意味を持つ言葉で、捉え方やアプローチは一様に定まっているわけではない。人間環境の共生を理念とする本学会はこの動きをどのように捉え、どのようにアプローチしていくか、会員の皆様に強いご関心を持たれていると推察する。

そこで、年次学術大会の場を借りて企画セッションを企画する。

コーディネータ：巖網林（慶應義塾大学）

パネリスト：

林良嗣（名古屋大学）

三村信男（茨城大学学長）（予定）

盛岡通（関西大学）（予定）

金島正治（日本大学）（予定）

加藤博和（名古屋大学）（予定）

■ チュートリアル

1日目（9月26日）101教室 17:10-18:20

■ 口頭発表

□ 2日目（9月27日）午前

A会場（101教室） 9:00-10:30（総合討論10分込）

「災害問題」

座長：盛岡通（関西大学）， 討論者：石橋健一（名古屋産業大学）

A1-1 余命指標を用いた巨大地震による人的被害の評価

山下雄大（名古屋大学）， 杉本賢二（名古屋大学）， 加藤博和（名古屋大学），
林良嗣（名古屋大学）

- A1-2 津波災害の恐れのある地域における近居実態と生活再建意識の分析
 山中英生（徳島大学），近藤光男（徳島大学），渡辺公次郎（徳島大学）
- A1-3 自然災害による生産活動停止の地域経済効果の計測：原発施設周辺ゾーンを対象として
 洪澤博幸（豊橋技術科学大学），宮田譲（豊橋技術科学大学）
- A1-4 Land use/cover change effects on floods: a case study of Changchun, China
 MA DONGLAI（University of Tsukuba），石井儀光（建築研究所），大澤義明（筑波大学）

B会場（103教室） 9:00-10:30（総合討論10分込）

「都市・地域政策」

座長：加藤博和（名古屋大学），討論者：金島正治（日本大学）

- B1-1 物質フローから見た北九州エコタウンの変化に関する研究
 鶴田直（北九州市立大学），松本亨（北九州市立大学）
- B1-2 ウランバートル市ゲル地区の大気汚染対策に関する費用効果分析
 オトゴンバヤル・エンフツォルモン（北九州市立大学），松本亨（北九州市立大学）
- B1-3 モデル都市の動向にみる我が国の都市環境政策の変遷と課題
 土屋依子（首都大学東京），伊藤史子（首都大学東京）
- B1-4 外部サポーターが参加する地域活動の持続可能性 -”元開”集落になる秘訣-
 服部昌直（名古屋大学），林宰寛（名古屋大学），千葉啓広（名古屋大学），
 陳淑珮

□2日目（9月27日）午前

A会場（101教室） 10:40-12:10（総合討論10分込）

「震災復興」

座長：福田敦（日本大学），討論者：萩原亨（北海道大学）

- A2-1 人口減少下の都市構造変化を考慮した震災廃棄物処理のあり方
 北詰恵一（関西大学），小林晃（関西大学）
- A2-2 震災瓦礫処理における沿岸都市の地理的特性を反映した仮置場の立地選定に関する研究
 丹治三則（慶應義塾大学），巖網林（慶應義塾大学）
- A2-3 震災復興における集団移転の徒歩アクセシビリティ評価 -宮城県気仙沼市を事例として-
 金森 貴洋（慶應義塾大学），巖網林（慶應義塾大学）
- A2-4 福島原発事故汚染地区における土地利用の変化と復興計画の策定
 巖網林（慶應義塾大学），Roggema Rob（VHL, The Netherlands），Middleton Luke
 （EME Design, Australia），大場章弘（慶應義塾大学）

B会場（103教室） 10:40-12:10（総合討論10分込）

「環境教育」

座長: 佐藤洋平 (東京大学名誉教授), 討論者: 杉浦正吾 (杉浦環境プロジェクト)

B2-1 環境保全と科学技術における日本学生の意識とその頑強性 ~日本の環境教育のあり方を問う~

木谷忍 (東北大学), 長谷部正 (東京農業大学), 北山暁 (東北大学)

B2-2 生活環境圏における CO2 濃度常時測定データの環境教育への応用

高木祥太 (名古屋産業大学), 伊藤雅一 (名古屋産業大学), 岡村聖 (名古屋産業大学)

B2-3 高等教育論(教育学) の視点による「日本の高等教育の環境教育」研究の俯瞰 -環境共生学会を中心に-

内山弘美 (大学非常勤講師)

B2-4 ESD における ICT 活用の意義と課題

田開寛太郎 (東京農工大学)

C会場 (104教室) 10:40-12:10 (総合討論10分込) 企画セッションC1

“International Cooperation towards Community Resilience and Sustainable Ecosystems in Myanmar”

Chair: Hideharu Morishita (Aichi Gakuin University)

Discuss: Chosein Yamahata (Aichi Gakuin University)

C1-1 Impacts of illegal resource extraction and border trade on Kayin settlements and existing environment in Myanmar

Win Ei Phyu (Aichi Gakuin University)

C1-2 Ecosystem services and costal protection by tidal forests: Review from Myanmar

Yoshiki Takahashi (Aichi Gakuin University)

C1-3 Reconsideration of relief, rehabilitation and resilience approaches for Burma's flood-prone regions

Tin Nwe Oo (Aichi Gakuin University)

C1-4 Importance of Japan's Mekong strategic partnership for future political stability-building in Myanmar

Su Su Hlaing (Aichi Gakuin University)

□ 2日目 (9月27日) 午後

A会場 (101教室) 13:50-15:20 (総合討論 10分込)

「環境・経済評価」

座長: 氷鉤揚四郎 (筑波大学), 討論者: 松本亨 (北九州市立大学)

A3-1 越境地域の産業構造とクラスター形成の評価: 地域間産業連関アプローチ

高橋楓蒔 (豊橋技術科学大学), 渋澤博幸 (豊橋技術科学大学), 宮田譲 (豊橋技術科学大学)

A3-2 持続可能な観光と日本の旅行業: 実態と展望

九里徳泰 (相模女子大学)

A3-3 ジオパークの社会・環境側面における実態評価と政策提言-

大石直人（富山県立大学），九里徳泰（相模女子大学），高橋剛一郎（富山県立大学）

B会場（103教室） 13:50-15:20（総合討論10分込）

「環境意識と市民」

座長: 森下英治（愛知学院大学），討論者: 松村みち子（タウンクリエイター）

B3-1 グリーン購入活動を推進する地域ネットワーク組織の拡大要因に関する研究:滋賀グリーン購入ネットワークの活動を中心に

辻博子（滋賀グリーン購入ネットワーク），鶴飼 修（滋賀県立大学）

B3-2 環境文化としての地球温暖化防止活動の意義

原理史（中部大学）

B3-3 企業力を活かした WIN-WIN のサステナビリティ・コミュニケーション -三井物産「サス学」アカデミーを事例に-

杉浦正吾（杉浦環境プロジェクト），斎藤整（三井物産），根本和宜（国立環境研究所），森朋子（東京大学），岸和幸（Cremony）

C会場（104教室） 13:50-15:20（総合討論10分込） 企画セッションC2

「茨城県の大学における環境教育」

座長: 内山弘美（大学非常勤講師），討論者: 青山真弓（文教大学）

C2-1 茨城県の大学の環境教育

内山弘美（大学非常勤講師），青山真弓（文教大学）

C2-2 学校教育におけるモビリティ・マネジメント -交通・環境教育の実践-

谷口綾子（筑波大学）

C2-3 低炭素社会学とエコの木プロジェクト

島田敏（島田設備株式会社）

C2-4 東北の震災復興支援 -宮沢賢治からジオパーク-

加藤碩一（産業技術総合研究所），青木正博（産業技術総合研究所）

□2日目（9月27日）午後

A会場（101教室） 15:30-17:00（総合討論10分込）

「生態系」

座長: 林希一郎（名古屋大学），討論者: 中根英昭（高知工科大学）

A4-1 里海への愛着の地理的な分布の特定とその政策的活用

太田貴大（長崎大学），上原拓郎（立命館大学），桜井良（立命館大学），仲上健一（立命館大学）

A4-2 ビオトープ保全の視点からみるスイスと日本のしくみの比較

長谷川明子（名古屋大学），中村晋一郎（名古屋大学），加藤博和（名古屋大学），林良嗣（名古屋大学）

B会場（103教室） 15:30-17:00（総合討論10分込）

「エネルギー」

座長: 宮田譲（豊橋技術科学大学），討論者: 小林隆史（東京工業大学）

- B4-1 スマートコミュニティを目指した教育施設におけるエネルギー需要と省エネ制御に関する研究（第2報） -大学における電力需要と省エネ自動制御の効果の把握-
角田暁平（日本大学），金島正治（日本大学）
- B4-2 自宅への太陽光発電設備の導入費用に関する予備的研究 -WEB アンケート調査をもとに-
鷺見宏明（名古屋大学），林希一郎（名古屋大学）
- B4-3 業務・商業・住居で構成される街区群の電力マネジメントによる電力負荷平準化の評価
野田圭祐（三機工業），盛岡通（関西大学），尾崎平（関西大学）

C会場（104教室） 15:30-17:00（総合討論10分込） 企画セッションC3

「多分野の環境情報を活用した地域の持続可能性診断 -八王子を対象として-」

座長: 小池俊雄（東京大学）・川崎昭如（東京大学），討論者: 加藤博和（名古屋大学）

- C3-1 居住者の価値観と周辺環境を考慮した QOL(生活の質)評価手法
猪原暁（名古屋大学），杉本賢二（名古屋大学），加藤博和（名古屋大学），林良嗣（名古屋大学）
- C3-2 地域における生態系サービスと生活環境質（QOL）の関係評価
倉島治（東京大学），小黒芳生（東北大学），黒川紘子（森林総合研究所），正木隆（森林総合研究所），中静透（東北大学），伊藤元己（東京大学），三枝信子（国立環境研究所），大手信人（京都大学），日浦勉（北海道大学）
- C3-3 都市－生物多様性－健康－流域：分野間連携プロトタイプの開発
川崎昭如（東京大学），安川雅紀（東京大学），小池俊雄（東京大学）

■ ポスターセッション

□ 2日目（9月27日）（ポスター会場: 102教室）

展示: 9:00-15:30（コアタイム: 12:50-13:50）

- P-01 生活における行動別の資源消費に関する研究
江崎祐也（豊橋技術科学大学），後藤尚弘（豊橋技術科学大学）
- P-02 地域における環境教育実践の継続的な実施に携わった大学生の成長
郡司晴元（茨城大学），佐藤瑞穂（茨城大学）
- P-03 家計消費に伴うCO2排出量の算定と世帯類型による比較
平野勇二郎（国立環境研究所），戸川卓哉（国立環境研究所），井原智彦（東京大学），藤井実（国立環境研究所），小林元（みずほ情報総研）
- P-04 Assessment of Energy transition through “MFA-based energy indicators set” in a transition economy, Uzbekistan
Ozoda RAUPOVA (Toyohashi University of Technology), Naohiro GOTO (Toyohashi University of Technology), Lindsay PRESCOTT (Prescott Consulting, International Trade & Communications)
- P-05 高等教育論（教育学）の視点による「日本の高等教育の環境教育」研究の俯瞰 -

環境共生学会を中心に-

内山弘美 (大学非常勤講師)

- P-06 ビオトープ保全の視点からみるスイスと日本のしくみの比較
長谷川明子 (名古屋大学), 中村晋一郎 (名古屋大学), 加藤博和 (名古屋大学), 林良嗣 (名古屋大学)
- P-07 ジオパークの社会・環境側面における実態評価と政策提言
大石直人 (富山県立大学), 九里徳泰 (相模女子大学), 高橋剛一郎 (富山県立大学)
- P-08 余命指標を用いた巨大地震による人的被害の評価
山下雄大 (名古屋大学), 杉本賢二 (名古屋大学), 加藤博和 (名古屋大学), 林良嗣 (名古屋大学)
- P-09 震災瓦礫処理における沿岸都市の地理的特性を反映した仮置場の立地選定に関する研究
丹治三則 (慶應義塾大学), 巖網林 (慶應義塾大学)
- P-10 震災復興における集団移転の徒歩アクセシビリティ評価 -宮城県気仙沼市を事例として-
金森貴洋 (慶應義塾大学), 巖網林 (慶應義塾大学)

日本環境共生学会第18回（2015年度）学術大会実行委員会

委員長

木村 美智子（茨城大学教授 日本環境共生学会理事）

副委員長

内田 晋（茨城大学准教授）

委員

郡司 晴元（茨城大学准教授）

櫻井 一宏（立正大学准教授）

水野谷 剛（筑波大学准教授）

小林 慎太郎（国際農林水産業研究センター主任研究員）